

令和5年度第1回座間市地下水保全連絡協議会 会議録

- 1 日 時 令和5年6月14日（水） 午前10時00分～午前10時40分
- 2 場 所 市役所5-4会議室
- 3 出席者 委 員 岩田会長、小俣副会長、室星委員、小林委員、山田委員、田川委員
事務局 生活安全課長、環境保全係長、主事、主事補
- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 (1) 湧水ざまップの改訂について
(2) 令和5年度の有機フッ素化合物分析委託について
(3) その他
- 7 配布資料
資料① 湧水ざまップ改訂案（表面）
資料② 湧水ざまップ改訂案（裏面）
資料③ 湧水ざまップ改訂案 参考見積結果
資料④ 地下水・湧水中の有機フッ素化合物分析
資料⑤ その他の有機フッ素化合物分析
参考資料 湧水ざまップ改訂について

8 議 事

(1) 湧水ざまップの改訂について

① 事務局から「湧水ざまップの改訂について」について説明

・事務局

令和4年度第2回の本協議会で、湧水ざまップ改訂について協議をした結果、改訂内容について数多くのご意見を頂戴しました。

その中で大きな方針として、「現行の湧水ざまップのコンセプトは変更せず、古いデータは最新のデータに更新し、できるかぎり長く使えるものを作る。」という方向性で改訂を行うこととなりました。その方向性に基づいて、事務局では次の様な提案をさせていただきます。

①地下水採取に関連したグラフについては、平成26年までの古いデータなので新しいものに差し替えを行います。

②地下水かん養に関する内容については、市地下水保全基本計画全体を確認できるよう、掲載されているホームページにリンクするQRコードの追加を検討しております。

③地下水かん養意識啓発のため、雨水浸透施設の清掃については、記事の追加掲載等を検討しております。

④本市の地質断面図は、最新の地下水位の記載された新しいモデル図に差し替えを検討しております。

⑤谷戸山公園の情報掲載の部分は、同公園のホームページにリンクするQRコードの追加を検討しております。

⑥地下水の流れと湧水のしくみや、湧水の湧出模式図などは、現在使用されているものが非常によくできているので、差し替え等の予定はありません。

⑦湧水のpH及び湧水量についてデータを掲載しておりますが、こちらも古いデータになっておりますので最新のものに変更し、さらに最新データの確認をインターネットでできる旨の注釈文と掲載されているホームページにリンクするQRコードの追加を検討しております。

⑧白地図データが古いため、最新のものに変更します。

⑨市内の写真が、古くなっているため、撮影しなおし、一新したいと考えております。

なお、今回の提案はあくまで一例ですので、今後も皆様のご意見を賜りながらよりよいものを完成させたいと考えております。

つづきまして、湧水ざまップの改訂に係る費用についてです。今回の改訂にともなう費用を確認する目的で印刷会社2社より参考見積を取得しました。仕様については、使用する紙の大きさ、用紙の種類、印刷方法については現行の物と変わりません。このほかに、データ更新にともなう差し替え、QRコードの追加、写真の入れ替えを盛り込み、1,500部発行の場合と、3,000部発行の場合の二通りの場合で、見積を取得しました。その結果、1,500部発行の場合で最大297,000円、3,000部発行の場合で最大396,000円という結果になりました。また、発行部数による単価の差は約60円でした。今後、皆様からのご意見などを参考にしながら、さらに細かい変更の検討を重ね、令和6年度の早い時期に改訂版の発行を行いたいと考えております。

なお、今回はあくまで改訂を行う場合、どの程度費用がかかるかの参考用としていただいたものです。改訂内容が確定した場合は、より多くの印刷会社から見積を取得し、協議会にお諮りしたいと思えます。また、改訂にともなう費用については、地下水保全対策基金を活用させていただきたいと考えておりますので、改訂の内容と費用について確定しましたら、こちらについても改めて協議会にお諮りしたいと考えております。

② 質疑応答

小林委員 過去の発行部数はどうなっていますか。

事務局 令和2年度に1,500部増刷を行っておりますが、大変ご好評いただいております。現在の残数は約200部となっております。

小林委員 回答ありがとうございます。

これからも、本市の地下水や湧水について、様々な広報活動を行っていくべきと考えますので、発行部数は多いほうがよろしいかと思えます。

事務局 承知しました。

小林委員 参考見積を依頼した2社というのは、どのような選定でしょうか。

事務局 一般的な印刷会社に依頼しております。

印刷を正式に依頼する際には、より多くの印刷会社にお声掛けをし、なるべく価格を抑えた契約ができるように努めるつもりです。

小俣副会長 撮影しなおす写真については、現在の写真と同じ場所で撮影をする予定ですか。

事務局 はい、その予定です。

現在の湧水ざまップの写真は、冬の時期に撮影されたものが多く、色合いが少し寂しいので、時期を選定して撮り直したいと考えております。

小俣副会長 わかりました。

やはり市民の方が手に取ったときに、一番初めに写真などが目に入るので、なるべく美しいものに仕上げていただければと思います。

事務局 承知しました。

岩田会長 最近是比较的に上手な写真を撮影できますからね。見た目が良いと市民の方にもわかりやすい印象を与えますので、よろしく願います。

事務局 はい、わかりました。

(2) 令和5年度の有機フッ素化合物分析委託について

① 事務局から「令和5年度の有機フッ素化合物分析委託について」について説明

・事務局

今年度の有機フッ素化合物分析調査について、説明いたします。

まず、地下水の分布調査についてです。昨年度は相模が丘、ひばりが丘、南栗原、緑ヶ丘、新田宿の井戸、南栗原の湧水の6か所で調査を行いました。今年度も6か所での調査を予定しており、栗原、小松原、広野台、西栗原、東原、座間の井戸で調査予定です。採水時期については、昨年度と同時期の9月と1月頃を予定しております。

つづいて、表流水の調査についてです。昨年度は、鳩川に流入する平和橋下流の排水路と目久尻川の寒川橋で9月に採水を行いました。今年度は、河川については、鳩川の見取橋と目久尻川の寒川橋で1月に採水をする予定です。排水路については、昨年度調査した排水路を遡って10カ所採水をする予定です。こちらは9月に採水予定です。

今年度の有機フッ素化合物の分析委託については、以上の予定です。

② 質疑応答

岩田会長 測定項目について教えてください。

事務局 PFOSとPFOAです。

有機フッ素化合物というのは、PFASと呼ばれ、約4,700物質が特定されています。その4,700物質のうちの2つに、近年注目を浴びるPFOS、PFOAという物質があります。その他の物質についても、国の専門部会で環境中の評価や健康への影響等、様々な検討がなされておりますので、今後新しい情報が入りましたら、委員の皆様とも共有を図りたいと思います。

岩田会長 わかりました。

小林委員 昨年度の調査で、暫定目標値50ng/lに対し、平和橋下流流入排水路で180ng/lという高い数値が検出されておりますが、こちらについての対応はいかがでしょうか。

事務局 昨年度の調査やその結果については、有識者で編成される市地下水採取審査委員会の委員の方々に意見を伺いながら進めています。その中で、今後については、市内でより広い範囲での分布状況の把握に努める調査を行うべきとの意見をいただいております。その調査の一環で、昨年度、暫定目標値を超過する値が検出された平和橋下流流入排水路について、今年度は排水路を上流方向に遡って調査を行う予定です。

小林委員 わかりました。

現状の水道水については、どのような数値が出ていますか。

事務局 市のホームページで、上下水道局が水質調査の結果を公表しております。そこに記載されている今年度の4月の結果を申し上げますと、例えば、第1水源で14ng/l、第2水源で18ng/l、第3水源47ng/lという結果が出ており、いずれも暫定目標値を下回る結果が出ております。水道水源の調査結果については、こちらのホームページで公表されていきますので、ご覧いただければと思います。

岩田会長 地下水が豊富なことは、座間を象徴するものの1つですので、引き続き調査をよろしくお願いします。

事務局 はい、わかりました。